

兼子一 （別名） 民事訴訟法學者。明治二十九年十一月十八日東京生れ、  
 昭和四十八年四月十六日歿（一九六十七）。昭和四年東京帝國大學法學部  
 卒。十六年同大教授、二十二年退官後辯護士開業、二十五年八六共企業  
 體等勞働委員會委員長。

著書 『民事訴訟法概論』全二冊（昭和十二年四月二十日一十二年二月  
 十五日、合本・十三年八月十二日岩波書店）、『新憲法の研究』（合  
 著・國家學會編、昭和二十二年七月一日有斐閣）、『基本的人權の研  
 究』（合著・鈴木安藏、昭和二十九年六月二十日勁草書房「政治  
 學研究叢書」）、『裁判批判』（合著・シユリス卜編集部編、昭和二  
 十二年四月二十日有斐閣「シユリス卜選書」）等。

